

今、学校園がおもしろい!

2015年6月25日

発行：泉佐野市教育委員会教育部

「子どもたちのいいところ、伸ばしていますか？」

5月15日（金）、人権教育研修講座①／支援教育コーディネーター研①として柳岡克子（やなおか よしこ）さんを講師に招いて研修を行いました。

柳岡さんは、仮死状態で生まれ、2歳半まで長い病院生活を送られました。両手足に重度の障がいがあります。

講演の中では、みんなとともに幼稚園、小・中・高校ですごしたエピソード。大学の薬学部に入り家族と離れて生活した4年間。卓球と出会い、パラリンピックをめざしたことなどを明るく、ユーモアを交えてお話していただきました。

後半では、参加者がふたり一組になって、お互いにほめ合う場面もあり、照れながらも笑顔がいっぱいになる時間をみんなで体験することができました。

内容の濃い有意義な学びの場となりました。



【参加者の感想から（一部抜粋）】

- ・改めて生きるすばらしさや人と人とのつながりの大切さを感じました。ふだんは当たり前前に感じていることでも感謝する気持ちをつねに持って生活していこうと思いました。
- ・ハンデをカバーするための工夫に唖ってしまいました。卓球のボールを取り上げる道具はすごいアイデアです！
- ・最後に柳岡さんがおっしゃった「できないことばかり見ていませんか」にドキッとしました。「もっとこうなってほしい」ではなくて、目の前にいる子どもたちのそれぞれいいところを認めてもっともっとほめなくちゃと思いました。
- ・明るく楽しく笑いあり、とても感動する講座を聞かせていただきありがとうございます。教師として、母親として、人として生きる上で心に残る言葉をたくさん伝えていただきました。明日からの人生ガラッとかわりそうです。

<人権教育研修講座②のご案内>

- 6月30日（火） 15：30～17：00・市役所 5階 理事者控室
- 『大阪府内の小・中学校で実施されている「同和教育」等について』（仮題）
- 大阪府教育センター 人権教育研究室指導主事 西出 佳央 先生

「楽しく体を動かしたよ」 ～泉支研運動会～



6月9日（火）泉佐野市内小中学校の支援学級と、佐野支援学校の児童生徒が市民総合体育館に集まり、連合運動会が開催されました。

全員での準備体操の後の交流ゲームでは「猛獣狩りゲーム」を行い、ちがう学校の友だちとグループをつくり、輪になって自己紹介をしました。その後、小学生は玉入れを、中学生はリレーをして思いきり体を動かして楽しい時間を過ごしました。



「イヌナキンはいるかな？」 ～庁舎見学～

市内の小学生が社会科の学習として市役所の見学に訪れています。

6月末までに、第一小・第二小・北中小・日新小・日根野小・大木小・佐野台小の3年生が来庁しています。屋上から市内を眺めたり、各階を静かに見学したり、質問をしながら真剣にメモをとったりする姿が見られます。

議会が開かれていない日は5階の議場に入ることもでき、普段はできない体験をすることもできます。



（写真：二小の3年生）

「強く、速く、絶え間なく！」 ～救命救急講習～

事故発見通報から救急車が到着まで数分かかります。その間、周りにいる人がすぐに手当を行えば、救命の可能性は高くなります。

どのような処置を行えばよいのか、正しい知識や適切な対応の仕方について、救命救急講習を行っています。

まずは、講師の救命救急士に呼吸や心臓が止まったときに大切な対処の仕方を含む心肺蘇生法を学び、その後、訓練用の人形を使って、人工呼吸や胸骨圧迫、AEDの使い方などの実技を行いました。参加者は、一つひとつの動作を確認しながら、救急車を呼ぶ、人工呼吸する、AEDをとりに行くなどの役割を交代し真剣に訓練をしていました。

講師の方が最後に「継続した訓練や、日頃の意識が大切です。」と話されていました。常に危機感を保ち続け、いざという時に児童・生徒の命を守る行動に移せるように、定期的な救命救急講習への参加がのぞまれます。



